

他の皆が出撃している間にこんなことをするなど
重桜の長門としてあってはならぬことだが…
このような時に淫らな行為をするのは
胸が高鳴ってしまうな…
余の身体をこのようにしたのはお主なのだ。
そう、お主が悪いのだ♡
ずっと孤独だった余に肌を合おせる心地よさを
教えてしまったのだから♡

まだ仕事が残っているから後にしてくれだとか？
何を言うておる。
新婚当時は時間も場所も関係なく
余に無理やり行為を迫っていたではないか。
お主の都合など余の知ったことではないわ♡
最近はお主が手を出さないから
ずっと溜まっておったのだ♡





もう諦めて
勤務時間中のえっちを
楽しむがよい♡

ふふ♡
お主のちんぽも
準備万端ではないか♡
今さら断るだなんて
言わせぬぞ♡



はいっただああ…♡
お主と何度もしているが、
挿れる瞬間というのは
少し苦しいものがあるな♡
ちんぽが大きすぎるせいなのだぞ♡
全く、生意気なちんぽだ♡

こやつのがちよいところは
知りつくしておるからな♡
存分にいじめてやろう♡



他の皆が頑張っている最中だというのに
お主は執務室で余と交尾♡
こんな指揮官だということが皆に知れ渡ったら
お主の信用は地に落ちてしまうであろうなあ♡

安心するがよい。
そうなたとしても
余だけは見放すようなことは絶対にせぬ。
誓いを交わしたあの目から、そう決めておる。
だから安心して余に犯されているがよい♡



んっ♡もうそろそろ出そうなのだな♡
隠そうとしても無駄だぞ♡
何度お主のちんぽをおまんこで
啜えていると思っておるのだ♡
膣内で切なそうにびくびくしておるのが
伝わってくるぞ♡
余の子宮の中にどっぶりと
精を放ちたいのであるう♡

我慢する必要はない♡
しっかりと腰を落として
ちんぽを子宮口に押し当ててやるから♡
赤ちゃんの部屋に
きちんと射精するのだぞ♡
ほれほれ♡
思いつき膣内射精するがよい♡





どくどくっ♡
どくどくっ♡
でておるっ♡♡

んあぁっ♡でてる♡
お主の子種が♡
余の子宮に♡

おはよう♡

おはよう♡

♡ドク♡♡♡ドク♡♡♡



膣内射精っ♡
気持ちいいっ♡♡♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡
はっ♡
はっ♡

はっ♡
はっ♡
はっ♡

はっ♡
はっ♡
はっ♡

ふふっ♡ 精子を強引に搾り取られて
随分と苦しげな表情をしておるな♡
そんな顔をするでない♡
気持ちよいのであろう？♡

膣内射精している最中でも
腰を動かして続けてやっておるのだ♡
もっと幸せそうな表情をせぬか♡
ほれほれえっ♡♡



ふう…満足満足…♡
やはり性交は中だしに限るな♡
子宮の中はお主の精子でいっぱいだから♡
皆が帰還するまで時間はあるようだから♡
まだもう少し楽しんで問題無いであろう♡
もう一回戦だ♡

休憩など必要ないであろう♡
休んでいる間に皆が帰ってくるかもしれない♡
あ♡♡これっ、いたばたするな♡抵抗するでない♡
射精したばかりで敏感なのはわかっておる♡
激しくせぬから安心するがよい♡
優しく搾り取ってやるからな…♡





余のおまんこの一番奥で
いっぱい出すのだっ♡♡

ほれっ♡ほれえっ♡
だせえっ♡
射精してしまえっ♡

♡おはよう♡♡おはよう♡









































